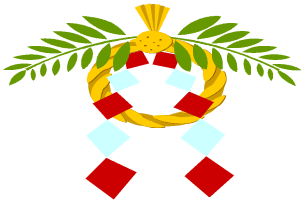
佐野市立犬伏東小学校

鯨山２

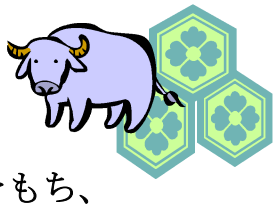
校長室だより　No.13

R03.1.15　令和３年１月号①

〒 327-0817　佐野市伊勢山町 1534 TEL 0283-24-2887 Fax 0283-24-3565
http://www.schoolnet-sano.ed.jp/inubushie-e/



２０２１（令和３）年、犬伏東小学校は無事に新年を迎えました。昨年は未曾有の新型コロナウイルス感染症対応にも見舞われましたが、今年が穏やかな年となるよう保護者の皆様やご家族、地域の皆様と共に子どもたちの健やかな成長を願い、豊かな心の育成、学力向上及び体力向上に教職員一同努力してまいります。皆様のご支援･ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



今年は丑年です。「丑」は十二支の二番目です。方角では北北東の方角を指します。また、「子」は旧暦１２月の異称であり、本来「丑」は曲がる･ねじるという意味をもち、芽が種子の内部で伸び切らない状態を表していると言われています。中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しているので、十二支の二番目にそのような意味をもつ「丑」が来るのだそうです。

十二支の始まりの民話では、神様が年始のあいさつの早い順に十二の年を割り当てることとし、ダントツ１位だったのはウシでしたがウシの背中に乗ってきたねずみが一番となってしまい、ウシは二番目ということになっています。図書館にも十二支の民話の本がありますので、子どもたちにも読んでもらいたいものと思っています。

今年もまだまだ新型コロナウイルス感染症の行方が不透明です。東京オリンピック･パラリンピックも予定されていますが、多くの子どもたちにとっては自国での開催は最初で最後かもしれません。気になるところではあります。

新年のちかい -一人一人の目標-

１２月２５日（金）冬休み前全校集会（放送にて実施）では「新年のちかい」を立てる大切さについて話をしましたが、新年全校集会（放送にて実施）では、その実行について一人一人が頑張ってほしいことについて話しました。「新年のちかい」は、各学級で掲示する予定です。ご家庭でもお子さんのちかいが実現できるようご支援いただきますようよろしくお願いいたします。初日は一斉下校で無事終わりました。

外国の文化に触れる外国語の授業

ＡＬＴや地域の外国語の講師の方による授業では、外国の行事や文化に触れることがよくあります。外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことといった外国語によるコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育てるためには外国の文化に触れながら学んでいくことが効果的です。１２月にはクリスマスという外国の行事に触れながらコミュニケーション力が高まるよう努めました。講師の方の楽しい教材のおかげで生き生きとした授業でした。

郷土に尽くした田中正造 -郷土博物館学習-

郷土博物館による４年「渡良瀬川と田中正造」の学習を１２月４日（金）に行いました。田中正造の墓は５か所あると言われており、それぞれの墓の云われについて映像で紹介していただきました。佐野市では、郷土に尽くし今も語り継がれる田中正造の偉業を称えるため、本葬が春日岡惣宗寺で執り行われ、約３万人の人々が正造翁の冥福を祈った１０月１２日を「田中正造の日」に制定しています。

新型コロナウイルス感染症対応に伴う主な行事等の変更予定について

新型コロナウイルス感染症への対応に伴い、現段階では次の諸行事等が変更予定となります。今後の状況によっては更に変更する場合もありますが子どもたちの安全第一を考慮してのことですので、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。行事によっては時期が近付きましたら詳細について別途通知いたします。

①ボランティア感謝集会	２月４日（木）予定でしたが今年度は行いません。関係ボランティアの方には感謝状をお送りして感謝の意を表す予定です。
②大なわとび大会	児童会活動として２月１５日（月）予定でしたが今年度は行いません。
③５・６年三毳山ハイキング	５年海浜自然の家宿泊学習、６年国会見学が中止となってしまったので代替行事として故郷の山・三毳山ハイキングを５・６年合同で行う計画ですが、最終的な可否については今後の判断となります。